

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	セントラル・パーク みさき たなわ教室		
○保護者評価実施期間	R 7年3月1日		～ R 7年3月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○従業者評価実施期間	R 7年3月1日		～ R 7年3月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 12
○事業者向け自己評価表作成日	R 7年4月1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	環境・設備の充実	<ul style="list-style-type: none"> 活動スペースや生活空間を子どもが過ごしやすいように整備 清潔で心地よい環境を維持し、安心して活動できるよう工夫 	<ul style="list-style-type: none"> 季節ごとにレイアウト変更や装飾を施し、子どもが興味を持てる空間を提供 子ども自身が環境を整える習慣を身につけられるよう、整理整頓の仕組みを導入
2	専門的な支援の提供	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの特性に応じた支援を行い、児童発達支援計画を適切に作成・実施 職員の配置も適切であり、専門性を活かした支援を提供 	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な職員研修を実施し、最新の発達支援や療育方法を取り入れる 保護者からのフィードバックを定期的に収集し、支援計画の質を向上
3	保護者との連携と情報共有	<ul style="list-style-type: none"> 保護者との日々の情報共有を大切にし、子どもの状況を適切に伝達 児発計画や支援プログラムの説明を丁寧に行い、共通理解を促進 	<ul style="list-style-type: none"> LINEやアプリを活用した情報発信の強化 保護者向けの相談会や交流イベントの開催頻度を増やし、支援の幅を広げる
4	安全管理・事故対応の徹底	<ul style="list-style-type: none"> 事故発生時の迅速な対応を徹底し、保護者への連絡を速やかに行う 子どもが安心して通所できる環境を確保 	<ul style="list-style-type: none"> 避難訓練や安全対策の見直しを行い、より実践的な訓練を実施 子どもにも安全意識を持たせるための指導を強化

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	他機関や地域との交流機会の不足	<ul style="list-style-type: none"> 地域の保育所・幼稚園・こども園との連携が不足している 他の子どもと交流する機会が限られている 	<ul style="list-style-type: none"> 近隣の保育園・幼稚園と定期的な交流会を企画 公共施設(公園・図書館など)を活用した活動の実施
2	家族支援プログラムの充実不足	<ul style="list-style-type: none"> ペアレント・トレーニングや家族向け研修の開催が少ない 保護者同士の交流の機会が十分に提供されていない 	<ul style="list-style-type: none"> 家族向けの勉強会や座談会を定期開催し、情報交換の場を設ける きょうだい向けのイベントを開催し、家族全体の支援を強化
3	防災・緊急対応の周知不足	<ul style="list-style-type: none"> 非常災害時の訓練や対応マニュアルの認知度が低い 避難訓練の実施頻度が少なく、実際の対応力に不安がある 	<ul style="list-style-type: none"> 防災マニュアルを改訂し、保護者向けの説明会を実施 より現実的なシナリオを想定した避難訓練を実施し、緊急時の対応力を向上